

図書館三二一だより

ブックスタート実施中



ブックスタートは、地域に生まれかたすすべての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動です。

町では、保健センターで行われる「4か月児健診」終了後に、受診者全員を対象に行っています。昨年8月から開始し、今までに約200人の赤ちゃんと絵本を手渡しました。

時間は、10分程度、ブックスタート・ボランティアが、赤ちゃんと絵本を読みます。すると、赤ちゃんはきゃつきゃつと笑ったり、絵をじつと見つめたり、様々な反応を見せます。その反応を見て『ひよん』ほか2冊からお気に入りの一冊を決めてもらいます。そして図書館の利用案内を行い、貸出券の発行（その場で借りることもできます）後、絵本一冊とブックリストが入った布製のバッグをプレゼントしています。

絵本を通して、赤ちゃんと保護者がより豊かな時間を持つことができたなら幸いです。

町史は今…⑩

平成3年度から開始した町史編さん事業は『町史』とは別に『大磯町史研究』を刊行し執筆過程において生じた調査報告や研究論文を紹介してきました。今回はその『町史研究』の中から大磯を特徴付ける「別荘」に関する論文を紹介します。

「大正・昭和初期における大磯別荘所有者の特徴」

佐々木哲也著

大磯は夏季の避暑、冬季の避寒にも好適地であったため、鉄道が開通した明治20年代以降には別荘が盛んに建設されていった。別荘所有者の居住分布と時代による変遷をまとめる。

「別荘地内出土の汽車土瓶」

國見徹著

明治から始まる鉄道網の整備に伴い、駅構内では弁当やお茶が販売され始める。当時、茶の容器として使用されたのが「汽車土瓶」である。旧別荘敷地内（神明前遺跡）から出土した近代

の特徴的な遺物「汽車土瓶」について述べる。

（『大磯町史研究』第5号所収）

「新館建築前後の三井城山荘三井にみる「財閥転向」過程の一齣」

松元宏著

県立城山公園の地にかつて三井総領家、三井八郎右衛門高棟の別荘「城山荘」があった。主に新館着工から落成までの様相について述べる。（『大磯町史研究』第8号所収）

「大磯町における別荘と地域社会 別荘所有者の記憶を通して」

八田恵子著

別荘が大磯社会にどのような地位を占めていたのか、元別荘族3家、4氏に行った聞き取り調査をもとに、大磯での別荘生活、地域とのかかわりを探る。



▲明治32～43年 滄浪閣
（図書館所蔵絵葉書）

「別荘と道」

飯田善雄著

明治・大正にかけて政財界・文化人が相次いで別荘を構えた。しかし、急増する別荘に対応する道路整備が間に合わなかった。町は寄付等をつのり対応を行った。資料、聞き取りをもとに述べる。また、三井財閥所有であった国宝茶室「如庵」移築にもふれる。

（『大磯町史研究』第11号所収）

▼価格 5・8・11巻 各600円

▼購入方法 図書館、郷土資料館、役場町民課、国府支所、書店組合加盟の町内書店にて販売。

◎問い合わせ

図書館 ☎(61) 30002

まちのギャラリー

◎小磯ハウス草木染展

▼とき 10月14日(日)午後1時～21日(日) 平日は午前9時30分～午後6時50分、土・日は午前9時30分～午後4時50分

▼ところ 大磯町立図書館2階ロビー

▼内容 草木染の作品

◎問い合わせ

小磯ハウス ☎(61) 1376

幼稚園児を募集

来年4月入園の園児を次のとおり募集します。

町立幼稚園

▼対象幼児

平成20年4月1日時点で、大磯町に住所を有する（または、予定のある）平成14年4月2日～平成17年4月1日生まれの3歳児・4歳児・5歳児

▼募集要項・願書の配布

10月15日(月)から各幼稚園で配布

▼願書の受付

11月1日(木)、2日(金)、5日(月)～7日(水)の午前10時～午後3時に各幼稚園で受付

▼入園料・保育料

入園料 5,000円
保育料月額 8,500円

▼問い合わせ

・大磯幼稚園 ☎(61) 0505
・小磯幼稚園 ☎(61) 4093
・国府幼稚園 ☎(71) 0549
・月京幼稚園 ☎(71) 3050

◎問い合わせ

募集要項の配布は10月15日(月)から、願書の受付は11月1日(木)からなっています。

◎問い合わせ

各私立幼稚園または県学事振興課 ☎(045) 210 3768